

あいだ
會田みのる
実 AIDA Minoru

文学部 日本文学科 教授

PROFILE 研究者略歴

- 生年月 1954年 9月
- 学位 博士（文学）（立教大学/2005. 9）
文学修士（早稲田大学/1983. 3）
- 学歴 東京都立航空工業高等専門学校航空機体工学科3年修了（1972. 3）
早稲田大学教育学部国語国文学科卒業（1979. 3）
早稲田大学大学院文学研究科博士前期課程修了（1983. 3）
- 主な職歴 戸板女子高校教諭（国語）（1983. 4）
四国女子大学短期大学部講師（1992. 4 四国大学と改称）（1991. 4）
四国大学短期大学部助教授（1994. 4）
四国大学短期大学部教授（2000. 4）
四国大学文学部教授（2001. 4）
- 専門分野 中世文学（軍記・説話）
- 現在の研究 「曾我物語」を主に研究しており、その成果は『『曾我物語』その表象と再生』（2004. 12刊 笠間書院）としてまとめた。曾我関係で最近の論文は『『曾我物語』とは何か、なぜ「曾我」の物語なのか一名を後代に留めると言うことの意味をきっかけに一』（四国大学紀要第32号 2009. 12。『国文学年次別論文集平成二十一年度版』（朋文社 2012年11月刊）に再収録。）。「曾我物語における意味の収束と拡散—真名本から仮名本へ—」（『日本文学』2011年7月号）等。その他、説話（今昔物語集、宇治拾遺物語等）でも論文を書いているが、現在は御伽草子にも興味をもっており、2010年度前期の「日本文学概説」では「一寸法師」をとりあげ、「小さ子」の持つ神話的意味などを探究した。
- 所属学会 中世文学会、日本文学協会、仏教文学会、早稲田大学国文学会、軍記・語り物研究会 等
- 担当授業科目 [学 部]
上代・中古文学史、中世・近世文学史、日本文学概説、基礎講読上代・中古文学 等
[研究科]
中世文学特論 A・B、特別演習 I・II

DATA 主な業績

- 出張授業
- 1) 生活の中の呪術
 - 2) 平家物語「祇園精舎」の鐘の音はどうして「声」なのか？
 - 3) 中世のとんでもない坊主のお話
 - 4) 徒然草は随筆か
 - 5) 「夢合せ」という夢占いのこと
 - 6) 日本人の「あの世」観
 - 7) 猿沢の池から竜が出る話について
 - 8) 「一寸法師」の秘密
 - 9) 軍記の中の怨霊
 - 10) 過食と怨霊—「今昔物語集」巻28第23話を読む
- 主な学会及び社会活動等
- 1) 仏教文学会徳島大会を四国大学で開催（2002. 11）
 - 2) 「軍記・語り物研究会」夏期大会を四国大学交流プラザで開催（2009. 8）
 - 3) 仏教文学会推薦委員（2010～現在に至る）
 - 4) 日本文学協会運営委員（2013～現在に至る）
 - 5) 国文学研究資料館地域資料専門部会委員（2017～）
- 主な研究論文・著書等
- 1) 「『平治物語』と信西最期」（共著、1995、『中世文学研究—論攷と資料—』刊和泉書院）
 - 2) 「『真名本曾我物語』の基調構造としての因果連鎖」（共著、1996、『仏教文学の構想』新典社）
 - 3) 「巷談・流言・浮説「うわさ」という物語」（共著、2002、『院政期文化論集2 言説とテキスト学』森話社）
 - 4) 『『曾我物語』その表象と再生』（単著、2004、笠間書院）
 - 5) 「『曾我物語』とは何か、なぜ「曾我」の物語なのか一名を後代に留めると言うことの意味をきっかけに一」（『四国大学紀要第32号』、2009。『国文学年次別論文集平成二十一年度版』（2012、朋文社）に再収録）